

# きずな

17号

平成22年11月10日発行

## 今月の顔



みずほ台2丁目に住んでいる大野英雄です。この町に引っ越して、早いもので19年になります。東京上野にあるIT企業に勤めるサラリーマンですが、週末はボランティア活動に注力しています。

きっかけは通勤で駅まで自転車を利用する際に、駐輪場の前にある県道を渡るのに危険を感じて、何とかしようと思いたち、7年前から早朝の交通整理を始めました。仲間が段々と増え、今では毎日交通整理をしています。また、日曜日は駅で花で植えたり、ゴミ拾いをしています。昨年は音楽で溢れる町にしようと考え、毎月網駅ライブを始めました。12月は駅ロータリーをクリスマス・イルミネーションで飾ります。更に、今年の10月から大網を訪れた人におもてなしをするために案内所を設置しました。

一緒に「大網駅から始まる大網の未来創り」をしませんか？

大網をもっともっと元気にするために！

## 産業祭とさんさん市

去る十月三十一日、悪天のため、一日遅れで、町の産業祭が開催され、まちサポも出店しました。まちサポでは、昨年と同様に子どもを対象に駄菓子と綿あめの販売をしました。かねてより、子ども向けの出店がないのが課題と噂されていたので、子どものお小遣いで購入出来るようにと安価な価格に設定しました。一日ずれて業者が減ったこともあり、綿あめに長蛇の列が出来、とても賑わいました。お買い上げありがとうございます。また、十一月三日には、毎月恒

例のさんさん市を開催しました。この日は、6月から行われた「まちみがき人材パワーアップセミナー」の受講生が考えた、特産品マークのお披露目の日です。町の特産品の一つであるソフトみりん干しにマークを貼り、一目で特産品とわかるようにして、試食販売を行いました。千葉日報も取材に訪れ、かねた水産さんや内山商店さんから、お客様と一緒に伺いました。あいにく休日と重なり、この通りの商店はお休みのところが多く、人通りは思わしくありませんでしたが、来月も出店してくれるとのこと、さんさん市の賑わいに一役かっけてくれそうです。他に、白里の大矢織物店さんが出店してくれました。少しずつですが、出店してくる方を増やして行きたいと思えます。尚、さんさん市に出店する方を募集しています。



## 商店街の活性化に力を！！

さんさん通り商店会では、町の賑わいを取り戻すために、みんなで話し合いをしています。まちづくりに興味のある方ならどなたでも参加できます。

あなたの考えを活かしませんか？

毎月第2木曜日 18時～20時  
まちサポにて

### 出店の募集

開催時間

10時～14時

出店料 500円

電源・火気の使用不可

ご質問・お申し込み  
まちサポへ

11月4日付け千葉日報  
左上 特産品のマーク

大網白里まちづくりサポートセンター

**第1回 大網白里福祉ねっとまつり 開催**

平成22年11月23日 (祭)  
10:00~15:00  
大里総合管理(株)にて

「知ろう・つながろう  
活かし合おう」

町内・近隣の福祉施設・団体が初めて一緒に集まりおまつりをすることに。お互いに知り合いたいとの思いからです。町内の皆様とも知り合い、つながりたいと願ひ、どんな福祉施設・団体がこの町にあるのか、是非知ってください。相談も可能。おまつりで共に「知ろう・つながろう・活かし合おう」のメインテーマに一步でも二歩でも近づければとねがっての開催です。

一階 各施設・団体の紹介

活動報告

作品の展示・販売(ブース)

二階 昼食(スペース)

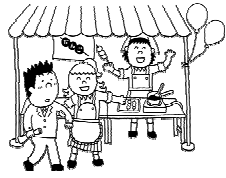
参加 無料

主催 九十九里福祉ネット

代表 林 正清子

先日の産業祭には、子どもも大勢集まりました。子ども向けの出店が少なく、まちサポートの前は、子どもだらけ。「もう、おこぼかいみんな使っちゃった」と言う。いくら持って来たのか訪ねると、二千八百円というではないか。少し持たせ過ぎでは?と首をひねった。その一週間後、ある小学校のバザーでも同じような会話をしたのだ。今どきの小学生はそれが当たり前なのか、たまに聞いた子がそう言う子どもだったのか。私の育つ頃は、百円玉を握りしめて駄菓子屋さんに行き、何をかうか迷いながら買物

**子どもの考え**



をし、少し使いすぎると店のおばちゃんに怒られながら、お金の使い方を覚えたのだ。今では、子どもを怒るお店は少なく、ポケットの多い今の子どもたちは、果たして、迷いながらまた我慢しながら選んでいるのだろうか? バザーの時ぐらいいは、子どもの目線で金額を決めて、少ないおこぼかいで、工夫しながら買物をするさせる事も、大切な大人の役割ではないかと思ふ。 お金の使い方について、親子で話し合ってみても、いいのではないだろうか?

**第3回 異世代交流 子どもフェスタ**

平成22年12月12日(日)  
10:00~14:00  
農村環境改善センター  
(いずみの里)にて

参加するには  
ペットボトルキャップ  
または  
プルトップ  
1個以上持参



**大網白里エコパークこども村からのお知らせ**

**冬の星座観測会開催**

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
※親子で双子座流星群を観よう!  
対象 小学生以上の親子・一般  
12月11日(土)  
18:00~20:00  
曇り・雨天の時は中止です。

寒いので、暖かい服装でおいでください。夜の開催ですから、必ず保護者同伴でご参加ください。

町民を対象に様々なもの作り体験等を通して、家族や地域の人々との異世代交流を深めるとともに、地域における子どもの健全育成及び子ども会活動の活性化のために、平成20年に始まりました。初年度は、六〇〇人を超える人々で賑わいました。昨年は、インフルエンザの猛威で開催中止になってしまいました。今年、開催できることを願って、準備を進めています。  
主催は大網白里町子ども会育成連絡協議会ですが、町社協白里支部やシルバー人材センターの方々のご協力をいただいております。尚、収益の一部は、大網白里町社会福祉協議会へご寄付させていただきます。



福祉ボランティアの位置づけ

(厚生労働省告知)

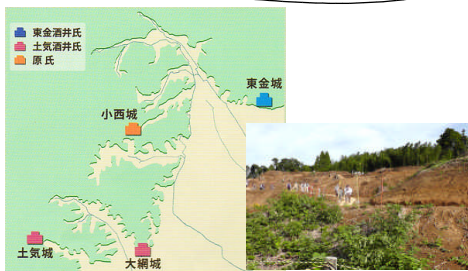
「国民の社会福祉に関する活動への参加の促進を図るための措置に関する基本的な指針」

従来、ボランティア活動は一部の献身的な人が少数の恵まれない人に対して行う一方的な福祉活動と受け止められがちであったが、今後はこれにとどまらず、高齢化の促進、ノーマライゼーションの理念の浸透、住民参加型互酬ボランティアの広がり等に伴い、地域社会の様々な構成員が互いに助け合い交流をするという広い意味での福祉マインドに基づくコミュニティづくりを目指す。

(語彙の解説)

- ※住民参加型互酬>有償ボランティアのこと。
- ※ノーマライゼーションの理念>障害者や高齢者など社会的に不利な立場を受けやすい人々が、社会の中で地域の人々と同じように生活し、活動することができる社会が、本来あるべき姿であるという考え方。
- ※福祉マインド>さまざまな苦痛や困難に直面する人々に対して、共感的に向き合いその人の立場になって支援し、共に生きること。福祉の精神、福祉の心。
- ※福祉マインドに基づくコミュニティづくりを目指す>そもそも福祉コミュニティは、福祉という共通の価値観を共有し、ともに生きるという思想に立って、ともに理解し共感し、地域においてさまざまな形で福祉を支え合うものである。(中央社会福祉審議会「福祉社会の基礎」)

大網白里町のこんなところ・2



小西城跡

圏央道の建設に伴い、発掘調査が行われている、小西城跡の現地説明会が昨年引き続き行われました。小西城跡の話は、きずな第5号で、武井さんの文化協会情報で取り上げていましたので、興味を持って出かけて来ました。すつきりと秋空の広がった中、たくさん歴史愛好家たちに交ざって、千葉県教育振興財団の方の説明を受けました。

小西城は千葉市の重臣である原氏が築いた戦国時代の城郭です。十六世紀の房総は戦国大名北条氏と里見氏の勢力争いの中にありましたが、大網・東金一帯は土気城の酒井氏と東金城の酒井氏が領有し、北条・里見氏と同盟・離反を繰り返しました。北条方の原氏は、この両酒井氏勢力に挟まれないがら小西城に拠点をおいて、小西原氏と呼ばれて戦国時代を生き抜きました。(現地説明会資料より)

この町にも、こんなすばらしい遺跡が有った事に感動し、やがて圏央道のために壊されてしまう事を残念に思いました。今年見学出来て良かったです。



折り紙教室の様子と、チーバくんの折り紙を選手団にプレゼントの様子



障害者大会が無事に終了し、国体おもてなしの会の活動も終了しました。聴覚障害の方を手話でお迎えしようと始めた手話講習は、延べ人数一万一千人。選手と気軽に話せるようにと、アリーナに来場した方に渡した筆談メモは、千五百冊になりました。選手の方を励ますために、小学生からお年寄りまで折ってもらったチーバくんの折り紙は、大会前日、大網に來られたすべての選手団にお渡ししてきました。危ない思いをしなからのガードレール磨き、道路の土上げ清掃活動のおかげで気持ち良くお客様をお迎えする事が出来ました。どのおもてなしも、他の町ではないとのこと、大勢の方に喜んでいただけました。

これからは、大網白里町のおもてなしの会として活動する事になりました。これからもよろしく!

国体おもてなしの会は  
大網白里おもてなしの会



# まちサポショップのおすすめ



## 駄菓子コーナー

子供より、大人に人気の、駄菓子を販売しています。昔を懐かしんでください。

## 中村農園さんの おいしいお米 千葉県の推奨品 「ふさこがね」

減農薬で育てたお米を1キロ単位で販売しています。



ここでは、お年寄りが散歩の途中でお買い物をしていく方が多く重いお米は持てないと、1キロの袋を求める方が多く、品切れになる事もしばしば。おだ掛け、天日干しのお米が並ぶこともあります。玄米で欲しい方、配達希望の方、お気軽に声をかけてください。

第1弾

まちづくり未来塾

# 大網白里町を知ろう！

この町は、天然ガスの宝庫です。ここから京葉地帯にガスが送られているのですが、実際には、どのようなシステムになっているのか知らない人がほとんどだと思います。大網白里町の住民として、この町を知ることが大切な事と思い、バス見学会を企画しました。

平成22年11月25日(木)

12時30分 まちサポ集合

16時30分 解散

【コース】

まちサポ出発→旭硝子工場見学→

伊勢化学工場見学→まちサポ帰着

【定員】25名

【申し込み締め切り】11月15日(月)

【問い合わせ・申し込み】

大網白里まちづくりサポートセンター



# 野菜の販売者を募集

まちサポショップ野菜販売部からのお願い

いつもまちサポショップをご利用いただきありがとうございます。まちサポの機能としては喜ば

まちサポショップで販売している野菜は、減農薬・有機野菜・地元で出

来た野菜にこだわって販売しています。そのせいでも新たに販路を探して

か、購入されるお客様も不便をおかけしないよう

とを言ってくれるお客様もいます。未だ新しい農家さんに出

ています。販路が確立されたいです。是非ご紹介く

## 編集後記

先日ある方が「きずな、おもしろい」と言ってくれました。読者の方からの反応を聞くことが今までなかったのも、とてもうれしかったです。ひと月に一号発行出来るのですが、原稿がなかなか集まらないと発行出来ない月もあって、反省しました。

これからも、大網白里町の情報をたくさん集めて発行して行きたいと思っています。皆様のご協力を、お願いします。

大網白里まちづくりサポートセンター

大網白里町大網 32-3  
http://machisapo.net

TEL/FAX ; 0475-72-8278  
E-mal:info@machisapo.net